様式３（2020.06改）

作成日　令和　3年　10月　15日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホーム　なごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じて地域との関わりを持ち情報交換を行っている。介護相談窓口の看板を掲げ問い合わせには随時対応し、適切なアドバイスをしている。昨年度に引き続き地域活動全般は自粛しているが、散歩等では近隣住民と挨拶や会話を交わす関係性を継続し、地域の一員として根差している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議は年6回、定期的に実施している。感染症対策で民生委員、包括支援センター等の外部参加者には書面をFAXや郵送して周知し、協働関係を継続している。また、管理者が他グループホームの推進会メンバーとして繋がりを持ち、同業者間の協働関係を構築している。推進会議では、運営報告を主に意見交換の場として活用されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区生活保護課とは直接窓口に出向く他、担当者が来訪し利用者と面会する機会もあり、何かあれば相談できる関係が築かれている。市保健窓口では、感染症対策等で随時電話で相談したり、SNS情報から情報を得て運営に役立てている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月「なごみの里たより」を発行し、活動時の写真や個別のコメントを寄せて日常の様子を伝えている。イベントでの家族交流が自粛されているが、感染対策をした上での面会を叶えたり電話やメールで随時近況報告し、家族からの要望があればサービスに反映して信頼関係を継続している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価		○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									